

長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 最優秀

税に関心を持って生きる

新潟大学附属長岡中学校

三年 笹川 桃花

今年、私は子宮頸がんのワクチンを受けた。正直私は注射をするのが嫌いだ。病院のにおいや雰囲気も苦手でなかなか足を運ばずにいたが母親に「将来のために不安が少しでもなくなったら方がいいよ。」と説得され嫌々受けに行った。しかも三回も受けなくてはいけないことが嫌だった。注射が終わりしばらく休んでから受付へ行くと支払いもなく帰っていいという。子宮頸がんワクチンは小学六年生から高校一年生であれば無料で受けることが出来ること知った。対象期間が過ぎてしまうと自費になってしまうらしい。後で調べてみると自費だと種類にもよるが五万円以上するようだ。そう言えばコロナのワクチンも支払いはしていなかった。赤ちゃんの時にもたくさん受けた予防接種（記憶にはないが…）もほとんど公費だったらしい。病院へ行くとも無料で予防接種を受けられるのであまり気にしていなかったがこれまでにかなりのお金がかかっているに違いない。これらの費用は国や自治体からの税金から補われている。体調が悪くて病院へかかった時の支払いも保険料や税金等から出されている。私たちが健康に生活していくためには今ままであまり気づかなかったが多くの税金が使われているのだ。

税について気になったので、どのようなものがあるのか調べてみ

た。国税と地方税合わせて約五十種類もあるとわかった。税の種類で言うと世界で二位らしい。普段生活する上で物を買ったときに消費税が十%かかるのは体感していたがこんなにたくさん種類があるとは思わなかった。それらはいつ、どこで何%かかっているのか正直よく分からなかった。子供のうちはあまり税金を払う機会は少ないが、大人になると様々な種類の税金を払わなければならないのできちんと勉強して、くるべき時に備えて知識を得たいと思った。

私たちが健康で豊かな生活をしていくためには税は欠かせない。赤ちゃんで生まれた時から高齢になるまでどんな人でも公共のサービスや施設を受けられる。中学生の生徒一人あたりの年間教育費は約百二十二万二千円だそう。学校の校舎や教科書も税金によりまかなわれている。新潟県では冬の道路の除雪にも使われている。これは本当に幸せなことだと思う。人は一人で生きていけない。お互いが支えあって生活する上で税は上手く機能している。

だが、最近では税にも問題がある。それは少子高齢化で一人の高齢者を支える働き手が少なくなってしまう。

納税は国民の義務の一つだ。税の問題の為にもこれからきちんと税を納めたい。さらにどのように使われているか関心を持つことが大事だと思う。これから先の未来も考えて税と関わってきたいと思う。